

## 第3学年 国語科学習指導案

日 時 平成22年9月30日(木) 5校時  
学 級 3年3組 男子14名 女子19名 計33名  
場 所 3年3組教室  
授業者 教諭 高橋 多鶴子

- 1 単元名 物語を読んで感想を伝え合おう  
教材名 中核教材「ちいちゃんのかげおくり」(光村図書)  
補助教材「火垂るの墓 徳間アニメ絵本」(徳間書店) 他

### 2 単元について

#### (1) 教材について

第3学年及び第4学年の「読むこと」の目標は、「目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む能力を身に付けるとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる」ことである。これを受けて、本単元は、「読むこと」の内容「オ 文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気付くこと。」と内容「ウ 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと。」の指導事項を重視していく。

読むことの教材「ちいちゃんのかげおくり」は、主人公が幼い女の子であり、父や母、兄という家族を中心に書かれている作品であるため3年生の児童にとっては感想をもちやすい作品である。また、家族の結びつきや一人になった不安など児童が「ちいちゃん」に寄り添って読み進めることができる内容であると考えられる。家族4人の「かげおくり」から一人ぼっちの「かげおくり」となる文章構成、印象的に残る短くたたみかけるような文章表現は、登場人物の心情や情景の変化をとらえ、一人一人が様々な感想をもち読書会を開く学習に適した教材といえる。また、この単元では、戦争の悲しさや平和を希求する思いを育てて欲しいという願いもこめて戦争文学を学級全体で並行読書ができる環境を整える。児童が感情移入しやすい「ちいちゃんのかげおくり」を中核教材として、登場人物の心情や情景の変化を捉えやすい作品を補助教材として扱うこととした。

#### (2) 児童について

児童は、「読む」単元として1学期に「音読発表会を開こう」で、音を表す言葉を見つけ、場面の様子を想像した。そのときは、自分の考えと友達のを話し合い相違点を見つけたり、音読の仕方を話し合ったりした。次の単元「本と友だちになろう」では、おもしろいところを見つけ、友だちと伝え合う学習を経験している。このときは、登場人物、出来事、場面の移り変わり、言葉の使い方や文章の調子、心に残る言葉や文に注目しておもしろさを見つけた。読みの観点を明確にすることで児童は感想をもち、それをグループで読書会として開くことができた。また、世界の民話を読む並行読書に取り組んだ。主教材「三年とうげ」で習得した力を活かして「寝太郎」などの本のあらすじを読みとったりおもしろさに注目しながら感想をもたせたりすることができた。しかし、児童が書いた感想カードを読むと「おじいさんが転んだところがおもしろい」など行動の一部分のおもしろさを感じている児童が多かった。登場人物や情景の移り変わりに注目して読んでいる児童は少ない。また、交流会の中で進行を担当したり友達の考えに対して質問したりする経験はまだ浅い。本単元では、児童司会による読書会という言語活動を通し、友達の感想を聞いて感じ方の違いに気付く力を育てていきたい。

#### (3) 指導にあたって

1学期は、物語の作品を会話や行動に着目し叙述に即して想像しながら読む学習を行った。この学習を踏まえ、本単元では、場面で区切って読むのではなく、読む観点を絞り作品の全体を丸ごと通して読ませていき、今後の読書生活に結び付けていきたい。

単元のとらえる段階では、図書館司書のブックトークを聞き、戦争文学に興味をもたせる。1学期に体験した読書会を想起させ、会を開くまでの学習内容や順序を確認しながら児童と共に学習計画を立てる。また、戦争文学の並行読書をしていくことも確認する。

たしかめる・ふかめる段階では、主教材「ちいちゃんのかげおくり」で初めと終わりの「かげおくり」の違いや「ちいちゃん」の心情の変化に注目しながら読みとっていく。そのときは、読み取りで終わるのではなく読書会につながるように自分が気付いたことや思ったことをグループ内で交流していく。

ひろめる段階では、主教材で習得した「自分の感想をもち伝え合う」力を活かして、補助教材の作品を読み読書会を開く。1回目は同じ本を読んだグループで、2回目は、違う本を読んだ子どもで構成したグループで感想を話したり質問したりしていく。単元の振り返りでは読書会を通して一人一人の感じ方の違いや、物語の読み方が豊かになったこと等をまとめていく。

(4) 活用させたい知識・技能

既習事項 ○前学年 ●前単元	既習事項の活用 ・本単元
<p>【C 読むこと】</p> <p>○登場人物の行動を中心に想像を広げながら読む。</p> <p>○文章の内容と自分の経験とを結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合う。</p> <p>●登場人物の性格や気持ちの変化を想像して読む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物とその家族の行動、登場人物の会話から場面の様子を読み取る。</li> <li>・登場人物の気持ちを自分の体験と結び付けて考え伝え合う。</li> <li>・場面の移り変わりに注意しながら、あらすじをとらえたり、登場人物の気持ちの変化、戦争の前後の情景をおさえて読み取ったりしている。</li> <li>・一人一人の感想の違いに気付き、自分の感想を豊かにしたり物語の読み方を深めたりする。</li> </ul>

3 単元の目標と評価規準

	目 標	評 価 規 準
国語への関心・意欲・態度	○物語を読み自分の感想をもち、友達の感想と比べようとする。	・物語を読み自分の感想を発表したり、友達の感想を聞き共通点や相違点に気付いたりしている。
読む能力	◎心に残った文と自分の感想を発表し合い一人一人の感じ方の違いや自分の感想の変化に気付いたりしている。(オ) ・場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景について、叙述を基に想像して読むことができる。(ウ)	・読書交流会の中で、心に残った文と自分の感想を発表し合い、感じ方の違いや自分の感想の変化に気付いている。 ・物語の初めの場面と最後の場面を比べ、戦争がもたらした情景の変化や登場人物の明暗という気持ちの変化について、叙述を基に想像して読もうとしている。
言語についての知識・理解・技能	○言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くことができる。(伝 イ (ア))	・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付き、つかおうとしている。

4 単元指導・評価計画 (1 2時間扱い)

	目標	○学習課題 ・主な学習活動 ☆主な支援の手立て	評価規準 【評価の観点】 (評価方法)
とらえる	1 ・戦争物語に興味をもち、読書交流会の持ち方をイメージすることができる。	○物語を2倍楽しむ方法を見つけよう。 ・戦争物語をテーマにしたブックトークを聞き、感想を出し合う。(読書会後の感想と比較する。) ・物語を一人で読むよりも楽しむ方法に読書会があることを知る。 ☆「三年とうげ」で学習したときに紙板書した皆の感想を提示する。 ☆具体的に読書会の方法が理解できるように、読書会のモデル提示をする。	戦争物語に興味をもち、読書交流会の方法をイメージしている。 【関・意・態】 (発言・ワークシート)
	2 ・物語の読む視点を理解し、読書会を開くための学習計画の見通しをもつことができる。	○読書交流会を開くための学習計画を立てよう。 ・読みの視点(情景・登場人物の変容)をもって物語を読むことよさを確認する。 ☆読書会の視点(題名・作者・あらすじ・心に残ったこと・情景や登場人物の変容・友達の感想を聞いて思ったこと)と相手・目的意識をもたせる。 ☆単元のゴールを目指すために学習内容を短冊カードを利用して、児童と共に学習計画表を作る。	読みの視点・相手意識・目的意識をもち、読書会までの手順を理解し、学習の見通しをもっている。 【関・意・態】 (観察・ワークシート)

ふかめる	3	話し合いを通して戦争物語のだいたいの特徴をつかむことができる。	○戦争について知っていることを話し合い、戦争物語の似ているところをさがそう。 ・戦争のことで知っていることを発表する。 ・戦争物語の似ているところを見つける。 ☆並行読書をしていくことを確認する。	戦争物語の大体の特徴をつかんでいる。 【読む能力】 (発言・ワークシート)
	4	あらすじをまとめ心に残った文を見つけることができる。	○「ちいちゃんのかげおくり」を読み、あらすじをまとめ心に残った文を見つけよう。 ・全文を読み、あらすじをまとめる。 ・心に残った文とその理由を書く。 ☆既習事項の5W1Hに着目してあらすじをまとめるという観点を示す。	5W1Hを使ってあらすじをまとめ、心に残った文と理由を見つけている。 【読む能力】 (発言・ワークシート)
	5	「ちいちゃんのかげおくり」の場面の違いを見つけて感想をもち、友達の感想と比べながら伝え合うことができる。	○「ちいちゃんのかげおくり」の第1場面と4場面を比べてちがいをみつけて感想を伝え合おう。 ・かげおくりの人数や空の色の違いに気を付けて違いを見つける。 ・場面の違いについて感想をもって伝え合う。 ☆情景の違いが表れている主な文章に付箋を貼り情景の変容と感想を読書ノートに書き込ませる。	叙述から場面の違いを理解し、感想をもち感じ方に違いがあることに気付いている。 【読む能力】 (発言・ワークシート)
	6	「ちいちゃんのかげおくり」の登場人物の気持ちの変容を理解し、感想をもち、友達の感想と比べながら伝え合うことができる。	○「ちいちゃん」の気持ちかどのように変わったのかを想像しよう。 ・ちいちゃんの会話や行動を読み取る。 ・ちいちゃんの気持ちの変容を見つけて感想をもって伝え合う。 ☆ちいちゃんの行動や会話の文に付箋を貼り気持ちの変容と感想を読書ノートに書き込ませる。	叙述から気持ちの変容について想像し、感想や疑問点をもっている。 【読む能力】 (発言・ワークシート)
	7	・心に残った文と感想を伝え合い、一人一人の感想の違いに気付くことができる。	○「ちいちゃんのかげおくり」前時までに書いておいた読書ノートを見せながら、自分の感想と友達の感想を比べながら読書会を開こう。 ・感想の違いを見つけ、友達の感想に対して思ったこと、考えたことを書いて伝え合う。 ☆情景と登場人物の変容の感想に着目させ、共通点や相違点を見つけさせる。 ☆読書会を通して気付いたことを簡単にメモさせ、全体で交流することで、個々の感想の変容や友達の感想に対する思いを確かめる。	心に残った文と感想を書いて発表し、感想の違いに気付いている。 【読む能力】 (観察・読書ノート ・ワークシート)
	8			
ひろげる	9	・読みの視点(あらすじをとらえる)にそって、他の戦争物語を読むことができる。	○他の戦争物語を前の学習を生かして読み、あらすじをまとめよう。 ・あらすじが分かるように読む。 ・題名・作者 ・あらすじを読書ノートに書く。 ・心に残った文章に付箋を貼る。 ☆5W1Hに注目し、あらすじをとらえさせる。	あらすじをまとめるために、戦争物語を読んでいる。 【読む能力】 (ワークシート)
	10	・読みの視点(情景・登場人物の気持ちの変容)にそって他の戦争物語を読み、感想をもつことができる。	○他の戦争物語を前の学習を活かして読み、感想をまとめよう。 ・情景や登場人物の変容に着目し読書ノートに書き込み、感想をもつ。 ・友達の読書ノートを読み合う。 ☆場面や登場人物の変容を視点にした感想を書くことを確認する。既習内容を想起させる。	感想をまとめるために、戦争物語を読んでいる。 【読む能力】 (読書ノート)

ひろげる	⑪ 本時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書会を通して、一人一人の感想の違いに気付くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の感想と友だちの感想を比べながらを伝え合おう。</li> <li>・読書ノートを見せながら感想を発表する。</li> <li>・児童司会は、同じ感想や違う感想を整理する。</li> <li>・もっと聞きたい友だちの感想に質問する。</li> <li>・自分の考えが変わったところや友達の考えについて感じたことを全体で交流する。</li> </ul> <p>☆事前に児童司会と会の進め方を確認しておく。 読書会の視点と話型を明確にする。</p>	<p>場面や心情の変容に対する感想を聞き合い、一人一人の感想の違いに気付いている。</p> <p><b>【読む能力】</b></p> <p>(読書会・読書ノート)</p>
	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感想を伝え合い感想の違いや読書交流会のよさに気付くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○違う本を読んだグループで、感想を伝え合おう。</li> <li>・詳しく知りたい友達の感想を質問する。</li> <li>・違う本の中での共通した感想と相違した感想を探す。</li> </ul> <p>☆読書会を通して、同じ戦争物語を読んでも感想の違いがあることや自分の一人では気付かないことを見つけたり、読み方が豊かになったりしたことを確認する。(初めの感想との比較)</p>	<p>相互交流を行い、友だちの作品のよさを見つけている。</p> <p><b>【読む能力】</b></p> <p>(読書会・ワークシート)</p>

5 本時の指導 (11/12)

(1) 目標

読書会を通して、一人一人の感想の違いに気付くことができる。

(2) 本時の指導にあたって

ふかめる段階で、「ちいちゃんのかげおくり」を読んだ読書会を体験している。その中で、物語の読みの視点にそって自分の感想をもつことや交流の中で一人一人の感想に違いがあることに気付いた。本時は、その既習内容を活かして補助教材として扱う本を読み読書会を開く学習を展開する。同じ戦争物語の本を読み読書会を開くことで、友達の感想を詳しく聞きたいところを質問したり、一人一人の感想の違いをより明確にしたりすることができるようにしたい。また、感想を伝え合うことで「ちいちゃんのかげおくり」と共通した感想に触れたり読書交流会のよさにも触れたりするようにしたい。

(仮説との関わり)

- 手立て1 ・課題確認時に活用させたい知識・技能(情景や登場人物の変容に注目した感想ということ、読書会の進め方について)確認する。
- 手立て2 ・経験した読書会の交流の様子をモデル提示する。  
・読書会を進めるための進行のマニュアルを用意する。友達の感想を聞いた後の話し方など話型や感想の言葉集を児童の手元に置き、支援が必要な児童には使わせる。
- 手立て3 ・本時では、身に付けた力を確認できるような振り返り、友達の感想のよさ、学んだことなどを授業の中で取り上げていく。

(3) 展開

段階	学習内容・学習活動	支援の手立てと評価の観点	準備・資料
とらえる 5分	<p>1 前時の振り返りをする。 前時の学習を振り返る。</p> <p>2 本時の課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     自分のかんそうと友だちのかんそうをくらべながら、伝え合おう。                 </div> <p>・課題確認は日直 (児童司会)</p> <div style="border: 1px dotted black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     手立て 1との関わり                      これまで学習した、情景や登場人物の気持ちの変容に着目した感想の交流と読書会の進め方を活かしていくことを確認する。                 </div>	<p>○情景や登場人物の行動や気持ちの変容に注目して読んだ感想をもったことを想起させる。</p> <p>○学習計画から、本時の課題を取り上げる。相手意識は「同じ本を読んだ友達同士での読書会」目的意識は「読書を2倍楽しむために読書会を開く」ことを確認する。</p>	<p>・紙板書</p> <p>・学習計画表</p>
たしかめる	<p>3 課題解決の見通しをもつ。 ○数冊の本の題名・作者をグループの司会が紹介する。</p>	<p>○全体で、各グループが読んだ本の題名、作者を紹介させる。</p> <p><b>【全体での読書会の視点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・題名(前半)</li> <li>・作者</li> <li>・読書会を通して気付いたこと(後半)</li> </ul> <p><b>【各グループでの読書会の視点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あらすじ</li> <li>・登場人物の気持ちや情景の変容に着目しての感想</li> </ul>	<p>・本の表紙 作者、出版社を掲示</p>

<p>たしかめる</p> <p>35分</p>	<p>○感想交流会の進め方を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・似ている感想・違う感想</li> <li>・質問 ・付け足し</li> <li>・感想の分類・整理</li> </ul> <p>[活用] 手立て2との関わり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既習の読書会の交流の様子をモデル提示する。</li> <li>・自分たちで読書会を進めるために、進行マニュアルや話型・感想言葉集を使用できることを確認する。</li> </ul> <p>4 学習課題の解決を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ毎に、読書会を進める。</li> <li>・友達の感想をメモしたり気付いたことをメモする。</li> </ul> <p>5 交流し考えを深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・代表のグループにどんな感想がでたか、読書会を通して気付いたことは何かを交流し合う。</li> <li>・一人一人の感じ方に違いがあることをまとめる。</li> </ul>	<p>○「ちいちゃんのかげおくり」を読んだ読書会を想起させる。</p> <p>「目指す姿」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・司会は、モデル提示や話型を基にしながらグループの進行をする。</li> <li>・共通点や相違点を見つけながら友達の感想を聞き、友達の感想に対して思ったことを伝えさせる。</li> </ul> <p>[評価規準] (読書能力)</p> <p>場面や心情の変容に対する感想を聞き合い、一人一人の感想の違いに気付いている。(観察・ワークシート)</p> <table border="1" data-bbox="734 571 1189 828"> <tr> <td>具体的評価規準 B</td> <td>努力を要すると判断された児童への具体的な手立て</td> </tr> <tr> <td>場面や心情の変容に対する感想を発表したり聞いたりして一人一人の感想の違いに気付いている。</td> <td>共通点、相違点のキーワードに着目させる。</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・板書上にグループからでた感想が書かれてある用紙を貼り、様々な感想があることを視覚的に確認する。</li> <li>・戦争物語のブックトークのときの初めの感想と比較し、読書会のよさ(感想が付け加えられたこと)に気付かせる。</li> </ul>	具体的評価規準 B	努力を要すると判断された児童への具体的な手立て	場面や心情の変容に対する感想を発表したり聞いたりして一人一人の感想の違いに気付いている。	共通点、相違点のキーワードに着目させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビデオ</li> <li>・ワークシート</li> <li>・既習内容の掲示</li> <li>・交流のときの話型</li> </ul>
具体的評価規準 B	努力を要すると判断された児童への具体的な手立て						
場面や心情の変容に対する感想を発表したり聞いたりして一人一人の感想の違いに気付いている。	共通点、相違点のキーワードに着目させる。						
<p>まとめる</p> <p>5分</p>	<p>6 本時の学習を振り返る。</p> <p>(1) 自己評価する。</p> <p>手立て3との関わり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評価の観点を示す。</li> <li>・わかったこと、学んだこととして自分の言葉でまとめる。(振り返り)</li> </ul> <p>(2) 次時の学習内容と家庭学習の確認をする。(日直・児童司会)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の課題から自己評価させる。</li> <li>・自己評価は、ワークシートに記入し振り返りの言葉は計画表に記入させる。</li> <li>・交流をして自分の感想に付け足したいことや友達に質問したいことを考えてくることが家庭学習であることを知らせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画表</li> </ul>				

(4) 板書計画

まとめ

読書会を通して、一人一人の感想がちがうことがわかりました。

ふりかえり

- ・友だちの感想をつけたしいです。
- ・いろいろな感想があつていいなと思いました。

・戦争はこわいな ・がんばって生きようとしていた

・なくなった人も残った人も悲しい ・今は幸せ

読書会

- ・にている感想
- ・しつもん
- ・ちがう感想
- ・つけたし

題名「  
感想  
作者

題名「  
感想  
作者

題名「  
感想  
作者

題名「  
感想  
作者

かだい

自分のかんそうと友だちのかんそうをくらべながら伝え合おう。